

代かきによる水の汚濁防止にご協力を！！

◆代かき方法の見直しをしましょう

Q：ほ場内での代かき時の濁水発生を極力少なくするためにはどうすればよいの？

A1：入水量をできるだけ少なくし、代かき前後の落水を行うことのないよう水管理に十分気を付ける。

A2：代かき作業をしながらの落水は絶対行わないようにする。

A3：土面が60～70%見えている浅水状態で作業を行う。

浅水状態で代かき作業を行うと、前年度の稲わらなどの浮き上がりを防止することができます。また、均平度合の向上も図ることができます。



こんなことに注意しましょう

- ・ 田に水を入れる前に畦の点検をしましょう
- ・ 濁水の強制落水はやめましょう
- ・ 田んぼから水をあふれさせないようにしましょう
- ・ 代かきは、浅水で行いましょう

土面割合 60～70%で作業を！

岡崎市役所 農務課農産係

☎23-6198